

II 主催事業

【5-③】「第3回 ハンターから逃げ切れ！ サバイバルおにごっこ」



1. ねらい

- (1) 自然の中で運動する楽しさを味わう。
- (2) 自然の中での活動を通して自然に親しむ心を育てる。
- (3) 活動を通して家族や友達とのつながりを深める。

2. 実施日

11月22日(土)

3. 対象者

2人～3人のグループ
(小学校3～6年生の児童を含む家族や友達)

4. 募集定員/人数/参加人数

16組/115組(283人) / 14組(33人) (キャンセル2組)

5. 「第3回 ハンターから逃げ切れ！

サバイバルおにごっこ」のスケジュール

9:30	受付
10:00	開会式(プレイホール)
10:30	施設案内・自然観察
11:30	休憩・昼食(ガーデン広場)
12:20	ルールの説明
12:50	おにごっこ(第I部)
13:50	成績発表
14:10	おにごっこ(第II部)
15:10	成績発表
15:15	閉会式(ガーデン広場)
15:30	解散

開会式と施設案内・自然観察

開会のあと、キャンプ補助員の紹介と日程の説明を行い、アイスブレイクを兼ねた準備運動を行った。十分に距離を取って、屈伸運動や駆け足、リズム運動等を行った。肌寒い気候の中体をほぐし、初めて会う友達とも少し打ち解けた。

その後は、施設案内と逃走経路の確認を兼ねた自然観察。食べられる葉や少しこすると良い匂いのする葉、



面白い形をした冬芽、植物の名前の由来など、少ない時間であったが、大人も子どもも新しい発見があったようで、満足の声が聞かれた。

おにごっこ(第I部)

ルールの確認を行った後、一番早く来た人が鎖を引いて、4体のハンター放出を4分後とし、おにごっこを開始した。ハンターは黒色のスーツとネクタイ、サングラスをして追いかけてくる。追いかける恐怖に楽しさを感じながら各サイトに散らばっていった。1回目のミッション発動、「各サイトに置いてある木のコインをメイン前広場に持ってきて150cm以上積み上げろ」というミッション、ヒノキの間伐材から作った木のコインを色ごとに積み上げたが失敗、3体のハンター放出を許した。2回



目のミッション発動、恒例の「丸太切り」であった。輪切りにしたコインをハンターに渡せばハンターを20秒静止させることができる。汗を流して参加してくれた。復活ミッションも行った。「おたまに入れたクヌギの実を2m程度の一本橋の上を運んでリレーせよ」というもの。それぞれが声をかけながら、一生懸命取り組んだ。

おにごっこ(第II部)

鎖を引き、またまたハンター放出を4分後とし、おにごっこが始まった。2回目は1回目とは違い、それぞれの反省を生かして参加できた。ミッション参加者も多く、前半は1回目に比べてハンターに捕まる人が少なかったように思える。ミッション発動、「メイン前広場にある9本の杭にフラフープを投げ入れろ」というもの。ミッションを待っていた参加者が発動後すぐに参加してくれた。2回目のミ



ッションは「9つのパネルに分解された名画『吐山のゆかいな仲間達』のそれぞれのパネルを広場に持ってきて名画を完成させろ」というもの。40cm×60cmのコンパネを各サイトから運び、120cm×180cmの名画を完成させる。名画ができあがっていったが、完成に至らずミッション失敗となった。復活ミッションも楽しんだ。「5つのアケビズルをそれぞれの枝に投げ入れろ」というもの。初めて持つツルの輪投げ、手こずった子が多く苦戦した。

6. まとめ

晴天の中、大きな事故もなく事業を終えることができた。感想を見ていると、ミッションクリアは一つもできなかったのは残念だが、自然とふれあい、思いっきり逃走し、家族やグループの絆を深められたことに満足の声が多かった。人気のある本事業は次年度も継続することになるが、参加者アンケート等の意見も取り入れながら、さらに楽しんでもらえるものにしたい。